

2023年3月期 第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要(連結)
2. 通期の業績見通し
3. 当社の経営戦略

2022年11月11日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



1

第2四半期決算の概要(連結)

1) 当第2四半期の決算概要

	前第2四半期 累計 (2021/9)	当第2四半期 累計(2022/9)		
		期初予想	実績	対前年同期 増減率(%)
売上高	102,343	88,000	94,349	△ 7.8
国内売上高	65,164	-	62,584	△ 4.0
海外売上高	37,178	-	31,764	△ 14.6
売上総利益 (売上総利益率)	54,487 53.2%	-	47,596 50.4%	△ 12.6
営業利益 (営業利益率)	17,414 17.0%	5,000 5.7%	7,217 7.6%	△ 58.6
経常利益	17,990	5,000	13,019	△ 27.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,294	3,500	8,541	△ 30.5

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: △26%

← 自社品
売上比率: 2021/9 72.2% → 2022/9 71.3%

← 販管費: 370億円 → 403億円
販管費率: 36.2% → 42.8%

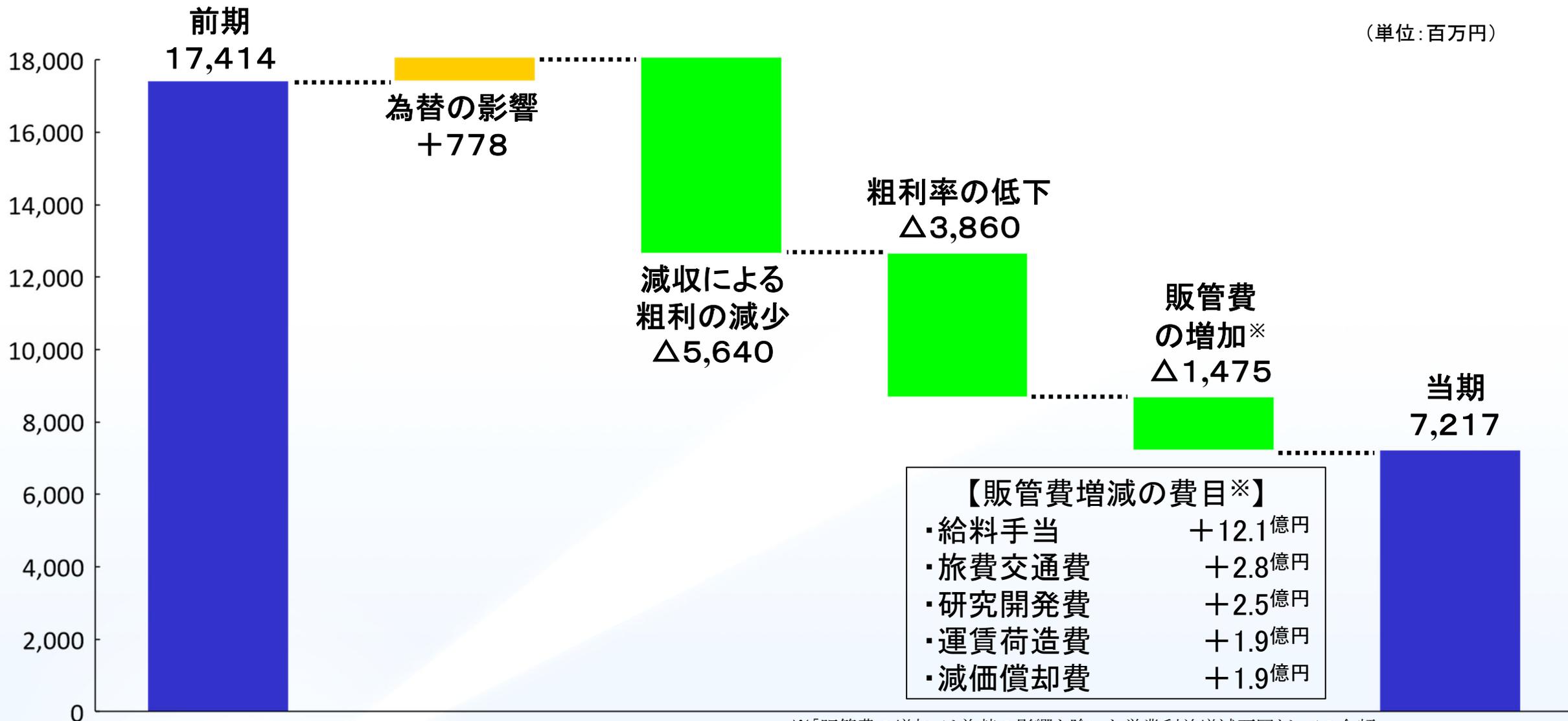
← 為替差益 296百万円 → 5,531百万円

平均レート	(2021/9)
1米ドル	109.5円
1ユーロ	131.1円

	(2022/9)
	129.7円
	138.4円

2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円)



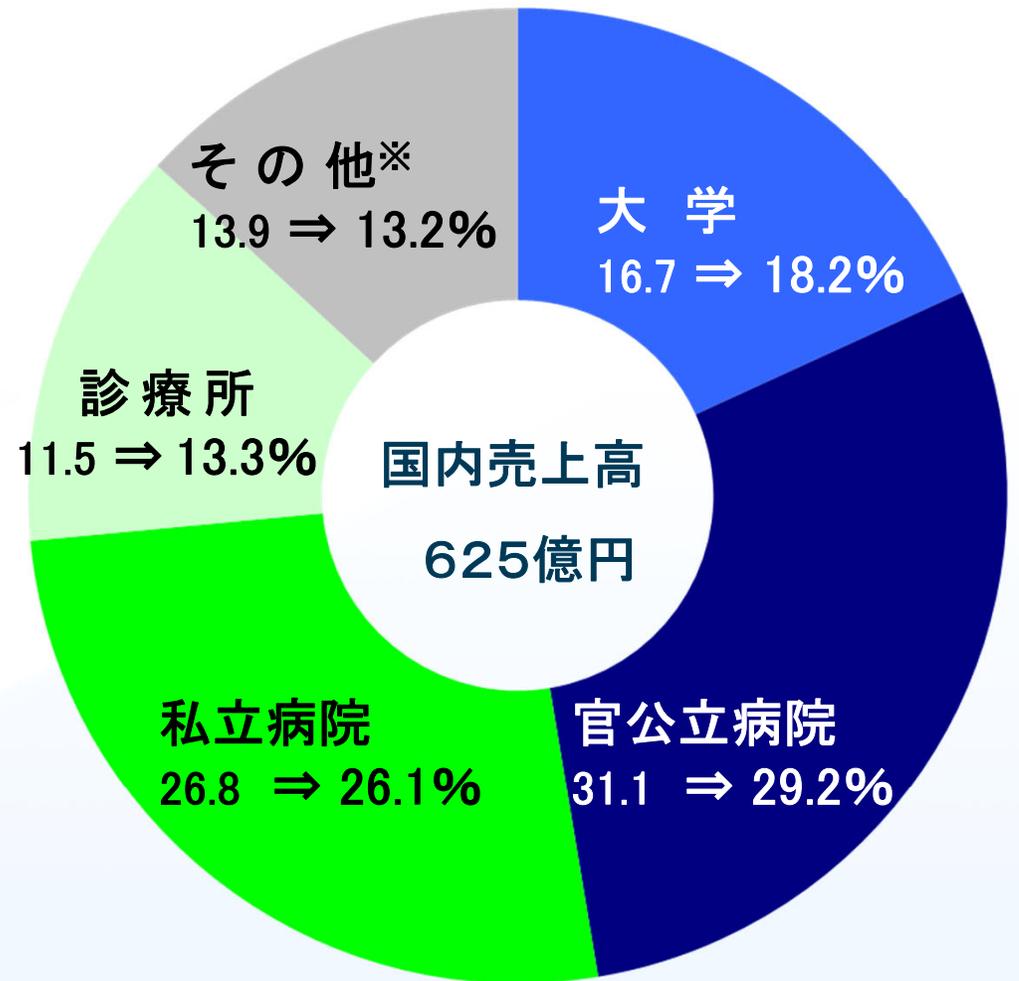
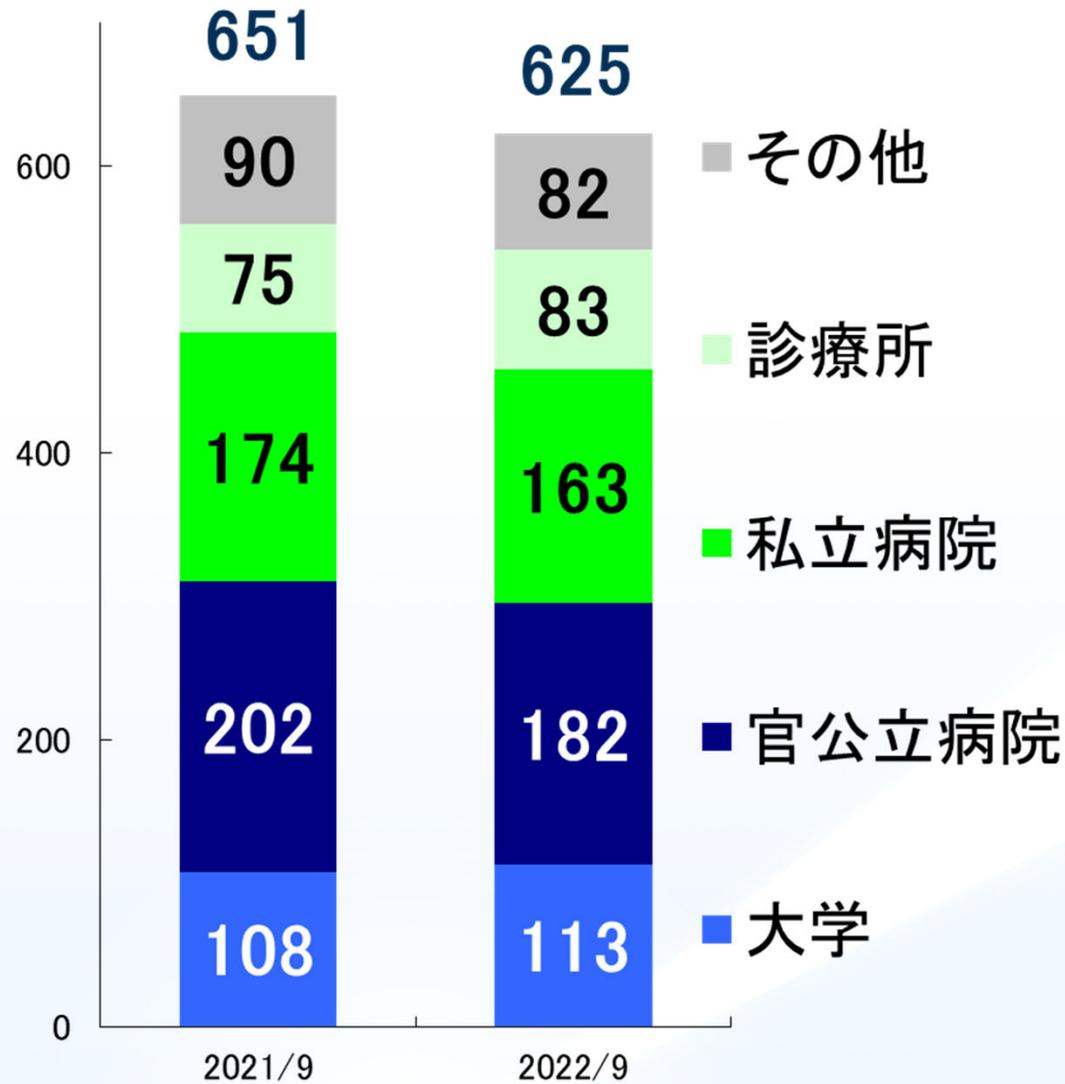
※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

3) 国内売上高

【市場別売上高】

市場別売上構成比
(2021/9⇒2022/9)

(億円)

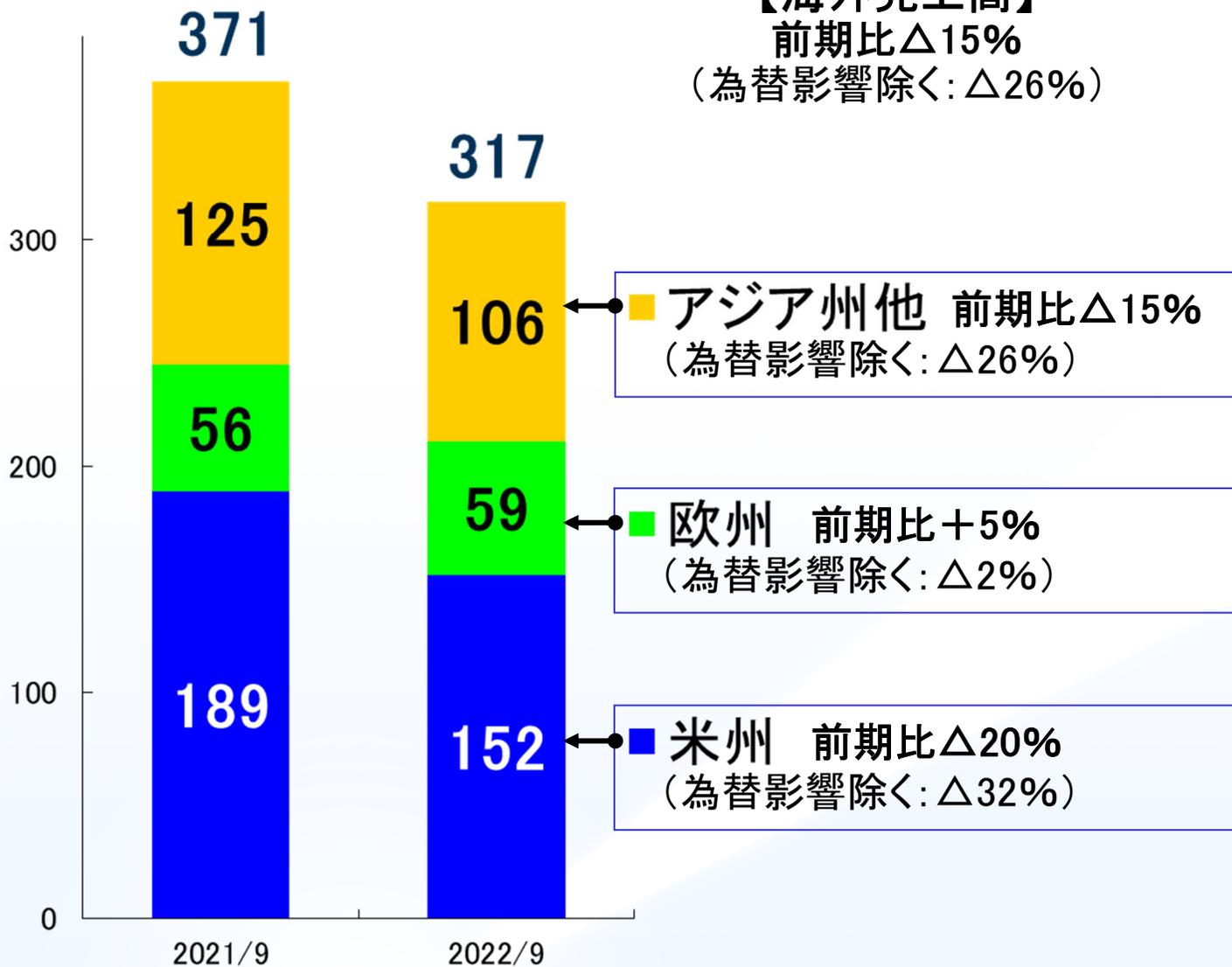


※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

4) 海外売上高

【地域別売上高】

(億円)



【海外売上高】

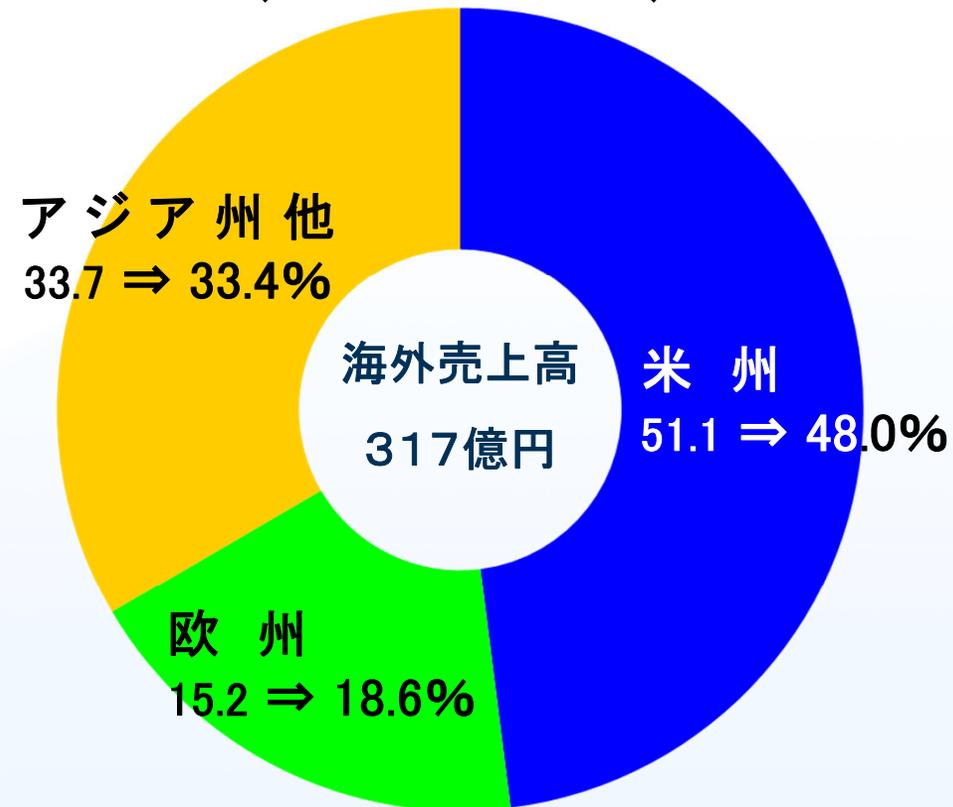
前期比△15%
(為替影響除く: △26%)

海外売上高比率

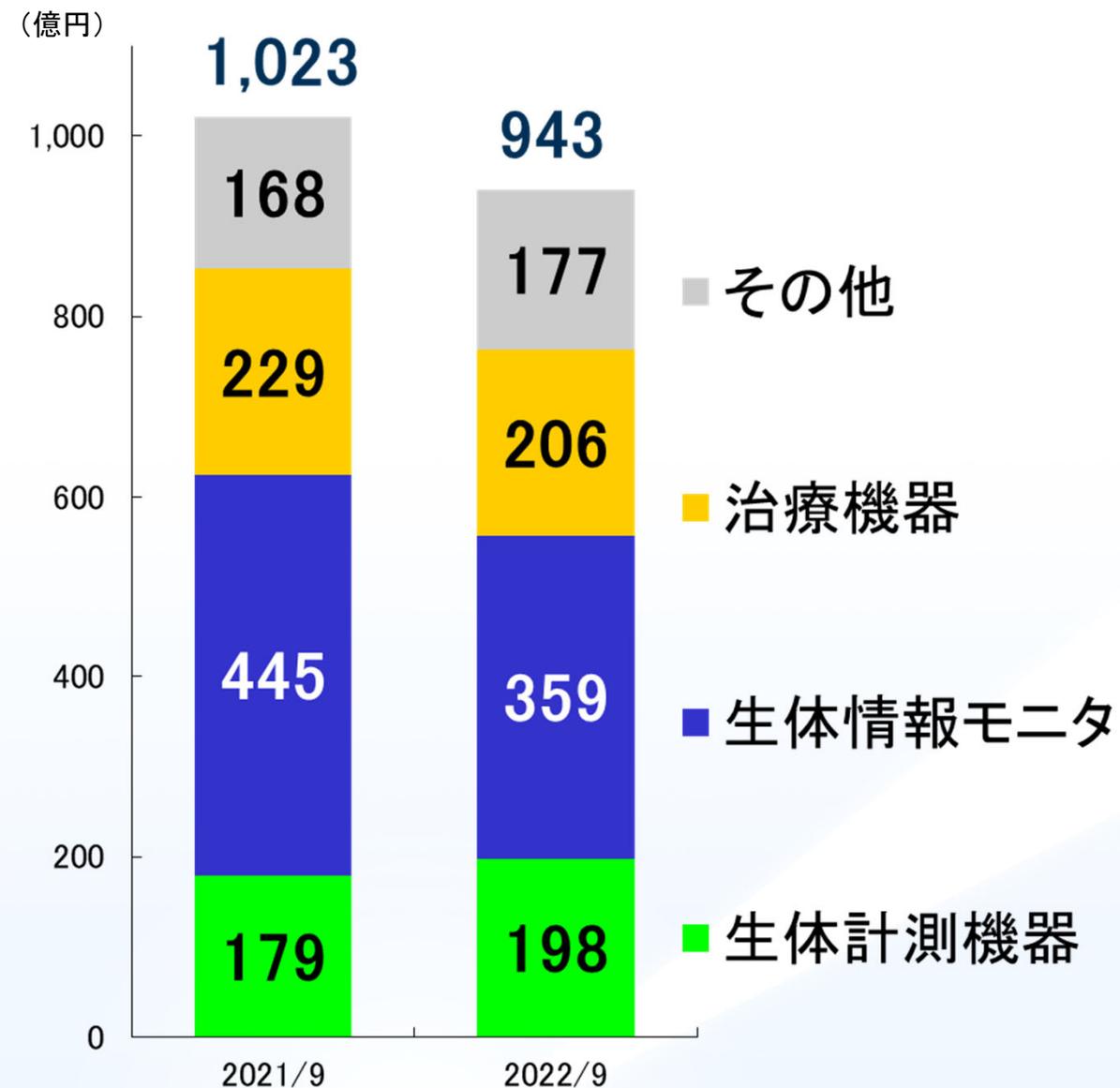
2021/9	2022/9
36.3%	33.7%

地域別構成比

(2021/9⇒2022/9)

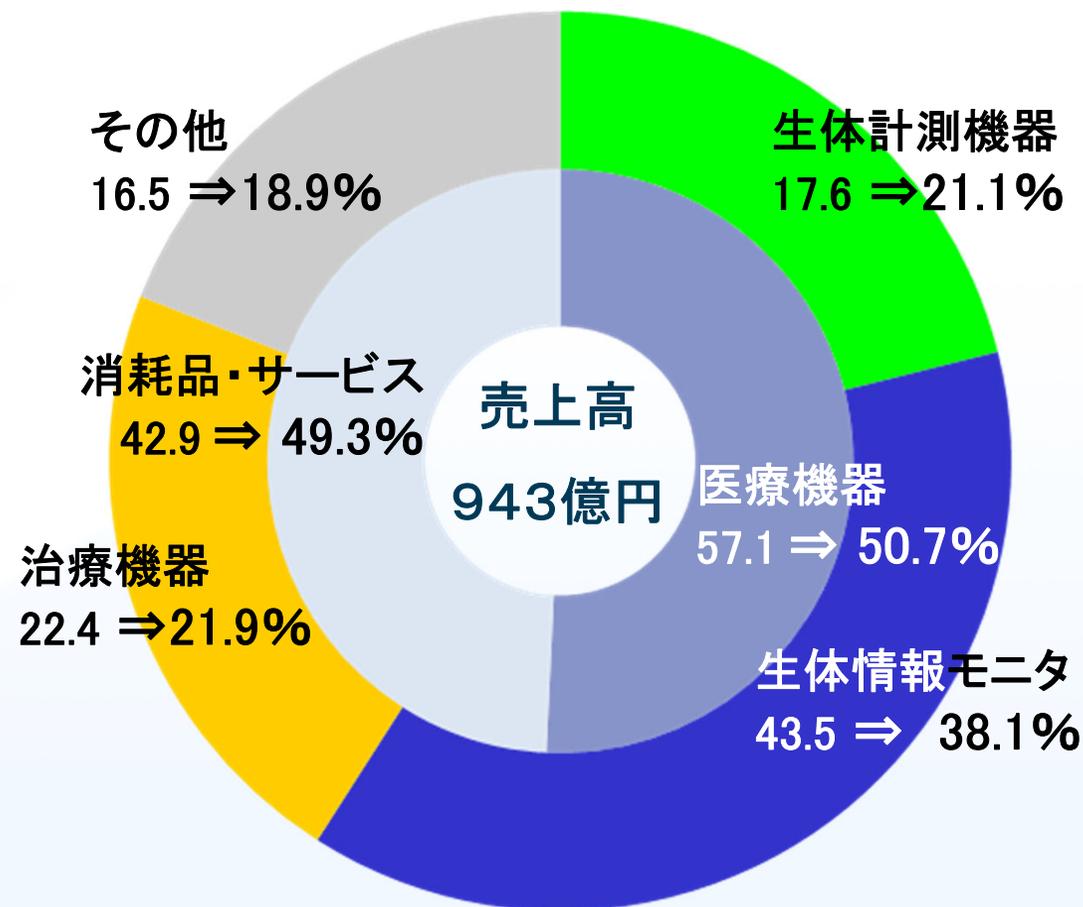


5) 商品群別売上高



商品群別売上構成比

(2021/9⇒2022/9)



5.1) 生体計測機器

	前第2四半期 累計(2021/9)	当第2四半期 累計(2022/9)	増減率(%)
脳神経系群	3,318	4,081	23.0
心電計群	3,254	2,911	△ 10.6
心臓カテーテル検査装置群	6,424	8,006	24.6
その他(診断情報システム等)※	5,000	4,896	△ 2.1
生体計測機器合計	17,998	19,896	10.5
うち国内売上高	13,371	15,700	17.4
うち海外売上高	4,627	4,196	△ 9.3

(単位:百万円)

脳神経系群、心臓カテーテル検査装置群が
二桁成長。診断情報システム、心電計群も
堅調に推移。

心電計群が全ての地域で減収。脳神経系群は
アジア州他を中心に好調に推移。

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計
EEG-1290



**筋電図・誘発電位
検査装置** MEB-9600

NEW!



心電計
ECG-3250



ホルター心電計
RAC-5000



臨床用ポリグラフ
RMC-5000



**医療介護ネットワーク
システム** LAV-1000



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

消耗品関連

5.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2021/9)	当第2四半期 累計(2022/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	44,546	35,964	△ 19.3
うち国内売上高	23,806	20,291	△ 14.8
うち海外売上高	20,740	15,672	△ 24.4

前年同期に好調だった送信機、ベッドサイドモニタが大幅減収。臨床情報システムは二桁成長。

米国、中南米、アジア州他は大幅増収となった前年同期を下回る。欧州は前年同期を上回る。



ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700



スポットチェックモニタ
SVM-7200



医用テレメータ
WEP-1200

NEW!



セントラルモニタ
CNS-2101



esCCO対応
SpO₂プローブ



cap-ONE
マスク



心電図
電極

消耗品関連

5.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2021/9)	当第2四半期 累計(2022/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	4,137	3,782	△ 8.6
A E D	8,713	9,159	5.1
ペースメーカー・ICD	1,288	1,165	△ 9.6
人工呼吸器	5,381	2,934	△ 45.5
その他の	3,443	3,647	5.9
治療機器合計	22,965	20,689	△ 9.9
うち国内売上高	14,321	12,252	△ 14.4
うち海外売上高	8,644	8,436	△ 2.4

【国内】更新商談の受注により堅調に推移。
 【海外】欧州、アジア州他が減収。

【国内】好調だった前年同期を下回る。
 【海外】全ての地域で好調に推移。

【国内】大幅増収となった前年同期を下回る。
 【海外】前年同期に需要が増加したアジア州他、中南米が大幅減収。

(参考) AED 販売台数	54,300台	56,100台	3.3
うち国内販売台数	29,600台	25,200台	△ 14.9



除細動器
EMS-1052



モバイル
AED-M100



オートショック
AED-3250



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
NKV-550



人工呼吸器
NKV-330



人工呼吸器
HAMILTON-C6

5.4) その他

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2021/9)	当第2四半期 累計(2022/9)	増減率(%)
検体検査装置	5,136	5,800	12.9
画像診断装置他 [※]	11,695	11,998	2.6
その他合計	16,832	17,799	5.7
うち国内売上高	13,666	14,339	4.9
うち海外売上高	3,166	3,459	9.3

検体検査装置や医療機器の設置工事・保守サービスが好調に推移。自社品販売の注力により、現地仕入品は減収。

血球計数器・試薬が中南米、欧州で好調に推移。

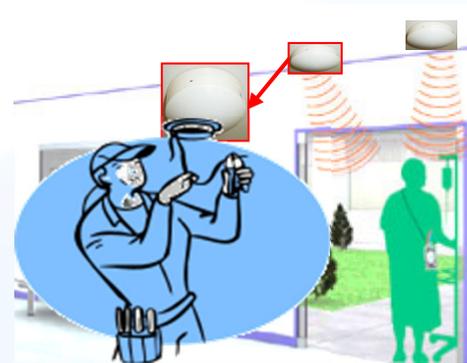
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-9200

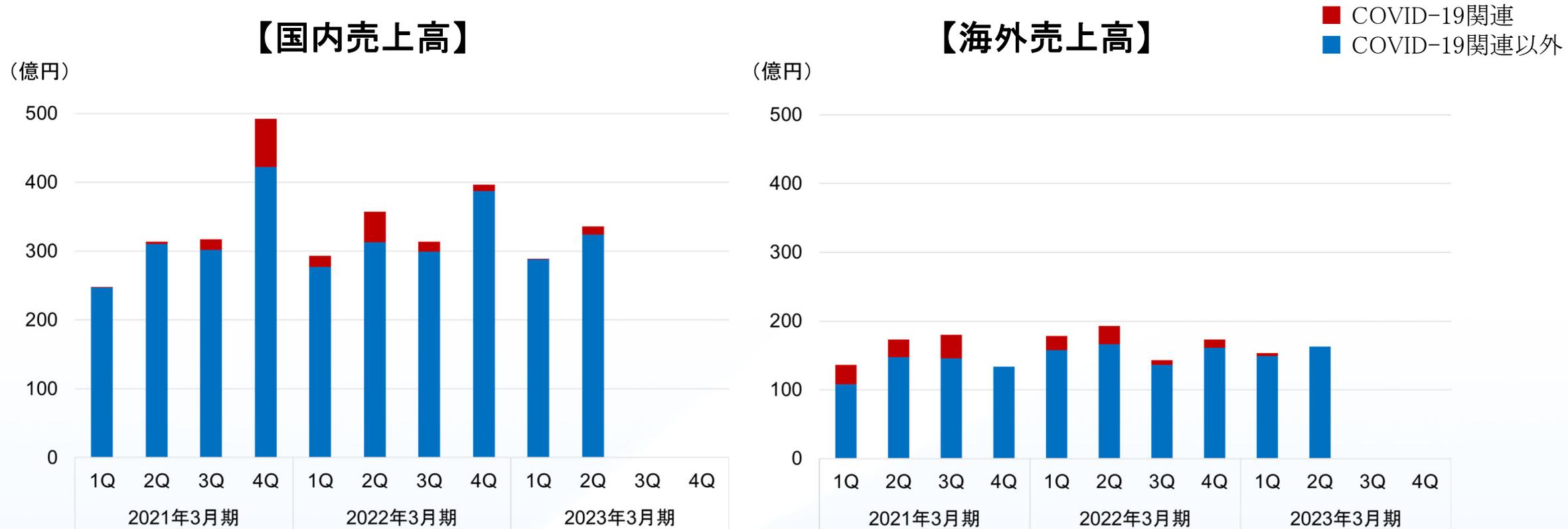


全自動血球計数・
赤血球沈降速度測定装置
MEK-1305



設置工事・保守サービス

[参考] COVID-19関連需要(概算)



2023/3 第2四半期累計 COVID-19関連需要	国内		海外	
		対前年同期増減		対前年同期増減
生体情報モニタリング	9億円程度	△31億円程度	2億円程度	△23億円程度
人工呼吸器	4億円程度	△16億円程度	1億円程度	△9億円程度
除細動器	—	—	1億円程度	△4億円程度
合計	13億円程度	△47億円程度	4億円程度	△36億円程度

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2022/3	当第2四半期末 2022/9	増減額		前期末 2022/3	当第2四半期末 2022/9	増減額
流動資産	171,875	168,213	△ 3,662	流動負債	50,804	43,905	△ 6,899
棚卸資産	48,367	57,886	9,519	有利子負債	325	325	—
有形固定資産	19,920	20,604	683	固定負債	3,016	2,962	△ 53
無形固定資産	3,737	4,293	556	純資産	156,381	162,424	6,043
投資その他資産	14,667	16,180	1,512				
資産合計	210,201	209,292	△ 909	負債・純資産合計	210,201	209,292	△ 909

棚卸資産回転月数	6.1ヵ月	7.1ヵ月		自己資本比率	74.4%	77.6%	
----------	-------	-------	--	--------	-------	-------	--

【棚卸資産の増加の理由】

- 部品供給ひっ迫に対応するため、在庫を積み増し + 95億円
(うち製品在庫+51億円、部品在庫+42億円)

7) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2021/9)	当第2四半期 累計(2022/9)	2022/3 前期実績	2023/3予想	
				期初	11月9日修正
設備投資額	814	2,125	3,022	5,600	5,600
減価償却費	1,561	1,711	3,422	3,700	3,900
研究開発費	2,658	2,911	5,711	6,300	6,400

●2023/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設	総投資額:約11億円	<	2023/3:10億円 2024/3:1億円	着工:2022年9月 完成:2023年春 稼働開始:2024年春予定
PLM/MES※システムの導入	設備投資額:約25億円	<	2023/3:4億円 2024/3~2025/3:21億円	PLM:2024/3下期稼働予定 MES:2025/3稼働予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

2

通期の業績見通し

1) 経営環境

欧米での金融引き締めにより世界経済の減速感が強まる
部品・資源価格の高騰に伴い、下期から製品・消耗品の価格を引上げ

国内

新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築、集中治療体制の強化

- 2022年4月 診療報酬改定: 本体0.43%増
急性期、集中治療領域における評価項目を新設
- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金:
2023年3月末まで

医療機能の分化・連携、
地域包括ケアシステムの推進

- 地域医療介護総合確保基金 2022年度1,029億円(医療)

海外

欧米諸国

- 看護師不足が深刻化、医療のDXが加速、
医療の質と効率性の向上
- 欧州の一部地域で医療インフラ近代化

中国

- 医療機器の国産優遇の動きを注視

新興国

- 一部の国で保護主義化の傾向

2) 通期の業績見通し

	2022/3 前期実績	2023/3予想		増減率 (%)
		期初	11月9日修正	
売上高	205,129	195,000	208,000	1.4
国内売上高	136,321	130,500	135,000	△ 1.0
海外売上高	68,807	64,500	73,000	6.1
売上総利益 (売上総利益率)	109,085 53.2%	98,200 50.4%	105,200 50.6%	△ 3.6
営業利益 (営業利益率)	30,992 15.1%	16,500 8.5%	19,000 9.1%	△ 38.7
経常利益	34,563	16,500	23,500	△ 32.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,435	11,000	16,000	△ 31.7

(単位:百万円)

← 為替影響除く: △10%

【地域別海外売上高】

	2022/3 前期実績	2023/3予想		増減率 (%)
		期初	11月9日修正	
米州	33,436	34,400	37,500	12.2
欧州	11,449	10,100	11,800	3.1
アジア州他	23,921	20,000	23,700	△ 0.9
海外計	68,807	64,500	73,000	6.1

海外売上高比率	33.5%	33.1%	35.1%
---------	-------	-------	-------

平均レート

1 米ドル	111.3円	117円	135円
1 ユーロ	130.6円	130円	139円

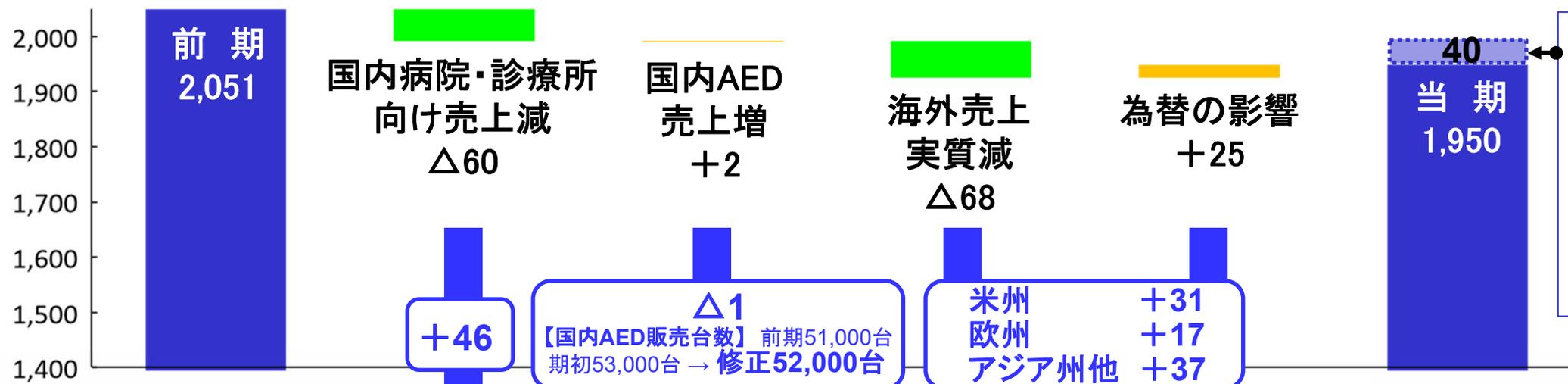
(下期)

140円
140円

3) 売上見通しの要因分析

(単位: 億円)

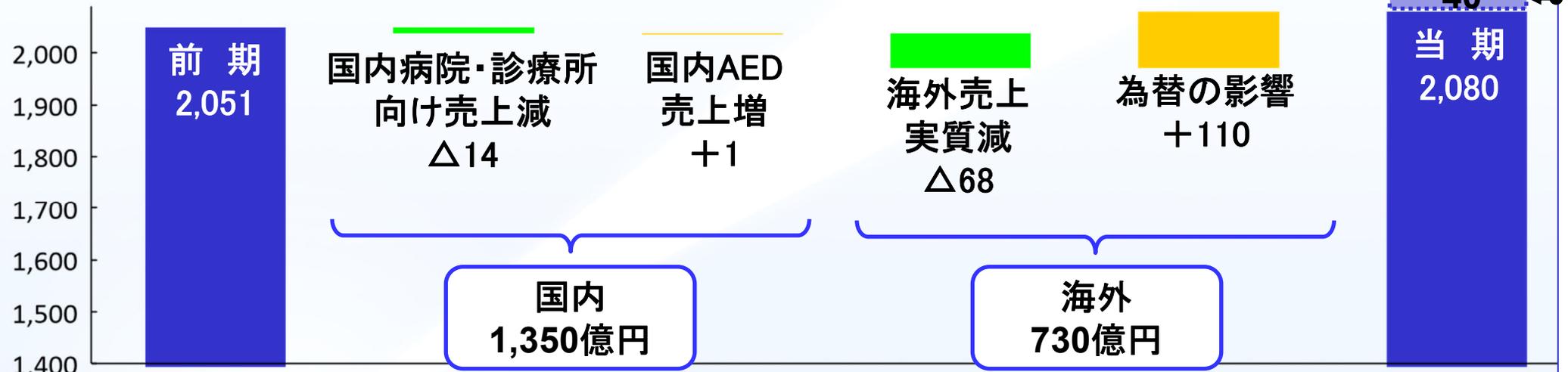
【期初予想】



製品供給問題によるマイナス影響

【見通しの前提】
上期末まで半導体の需給ひっ迫、上海ロックダウンによる製品供給問題が続くと仮定

【修正予想】



製品供給問題によるマイナス影響

【上期】

- アジア州他、欧州、中南米での機会損失: 15億円程度
- 米国の新製品供給遅延によるマイナス影響: 25億円程度

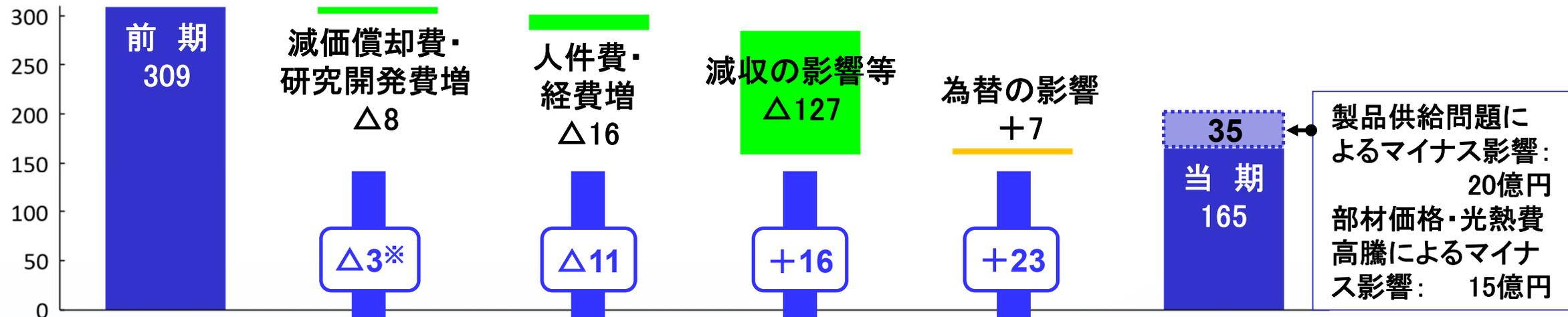
【下期】

一部生体情報モニタ、ITシステム等で供給遅延のリスクあり

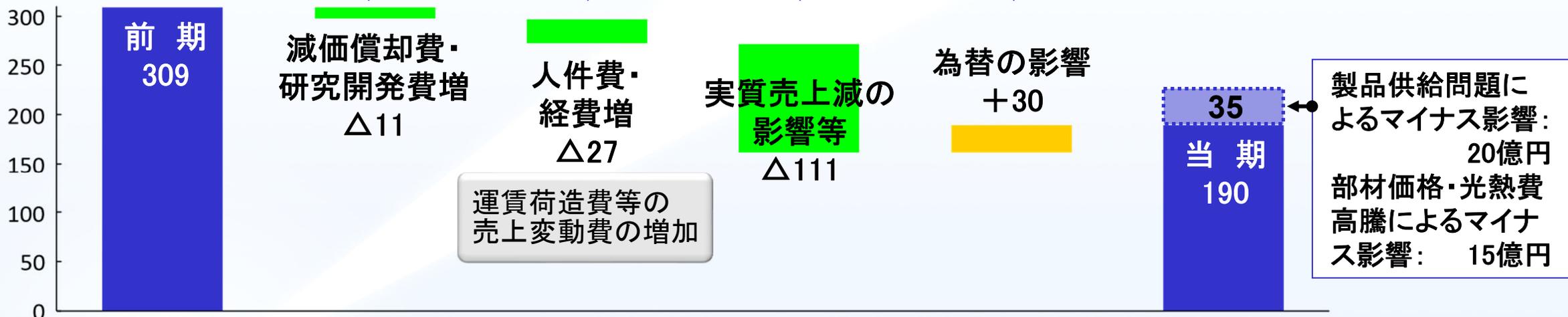
4) 営業利益見通しの要因分析

(単位: 億円)

【期初予想】



【修正予想】



※減価償却費・研究開発費増の期初予想と修正予想との差異は、一部為替の影響を含みます。

[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2022/3 前期実績	2023/3予想			増減率(%)
		期初	11月9日修正	構成比(%)	
生体計測機器	39,681	41,100	44,800	21.5	12.9
生体情報モニタ	84,860	75,900	80,100	38.5	△ 5.6
治療機器	43,388	41,000	42,800	20.6	△ 1.4
その他	37,198	37,000	40,300	19.4	8.3
売上高合計	205,129	195,000	208,000	100.0	1.4

(ご参考)

消耗品・サービス	90,576	94,800	101,300	48.7	11.8
----------	--------	--------	---------	------	------

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.6億円	0.8億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

3

当社の経営戦略

長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

グローバル共通価値基準

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

中期経営計画 基本方針

事業と企業活動を通じてサステナビリティを推進

経営

コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化により、経営基盤を強化する。

事業

既存事業の収益性を改善することで得た原資により、戦略的な先行投資を実施し、新たな成長への種を蒔く。

組織

グローバルSCMの構築とコーポレートの主要機能の強化により、グローバル成長の礎を築く。



サステナビリティの推進



マテリアリティ・KPIの実績開示

中期経営計画3年間累計目標

初年度22/3期実績

AED
販売台数: 35万台以上
(国内・海外、3年間累計)

10万台
(進捗率 29%)

搭載機種販売台数:
85,000台以上
(国内・海外、3年間累計)

34,000台
(進捗率 40%)

接続機種数: 7機種以上
接続台数: 5,000台以上
(国内・海外、3年間累計)

5機種
(進捗率 71%)
566台
(進捗率 11%)

環境配慮型
製品売上比率:
20%以上 (3年間累計)

19.9%
(63シリーズ)

<https://www.nihonkohden.co.jp/information/management.html#materiality>

TCFD※1提言に基づく情報開示

✓ 「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」
「指標と目標」を開示

- ✓ 脱炭素社会の実現に向けて
 - ・ CO₂排出量のSBT※2設定を推進
 - ・ 環境配慮型製品の開発を推進

※1 TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosure):
気候関連財務情報開示タスクフォース。

※2 SBT (Science Based Target): パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先
を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標。

<https://www.nihonkohden.co.jp/information/environment.html#TCFD>

NK Sustainability Initiativesを開始

国内外グループ各社・各部門で
サステナビリティに関する
ディスカッションを実施中



コンプライアンスの徹底・ グループガバナンスの一層の強化

再発防止策の推進

- ✓ 再発防止策実行管理委員会による
モニタリングを継続

上期

- ✓ 寄附金ウェブ申請・審査
- ✓ デイリー向けウェブシステム
デューデリジェンス・法令遵守誓約・通報窓口の
周知完了 (2022年1月開始、10月完了)

下期

- ✓ 外部専門家による
コンプライアンス研修を実施
国内支社支店・国内事業本部の管理職が対象
(2022年10月～11月)

グループガバナンスの強化

- ✓ グローバル経営管理ポリシーの更新、
海外子会社での運用定着、
国内向けポリシーの策定

経理

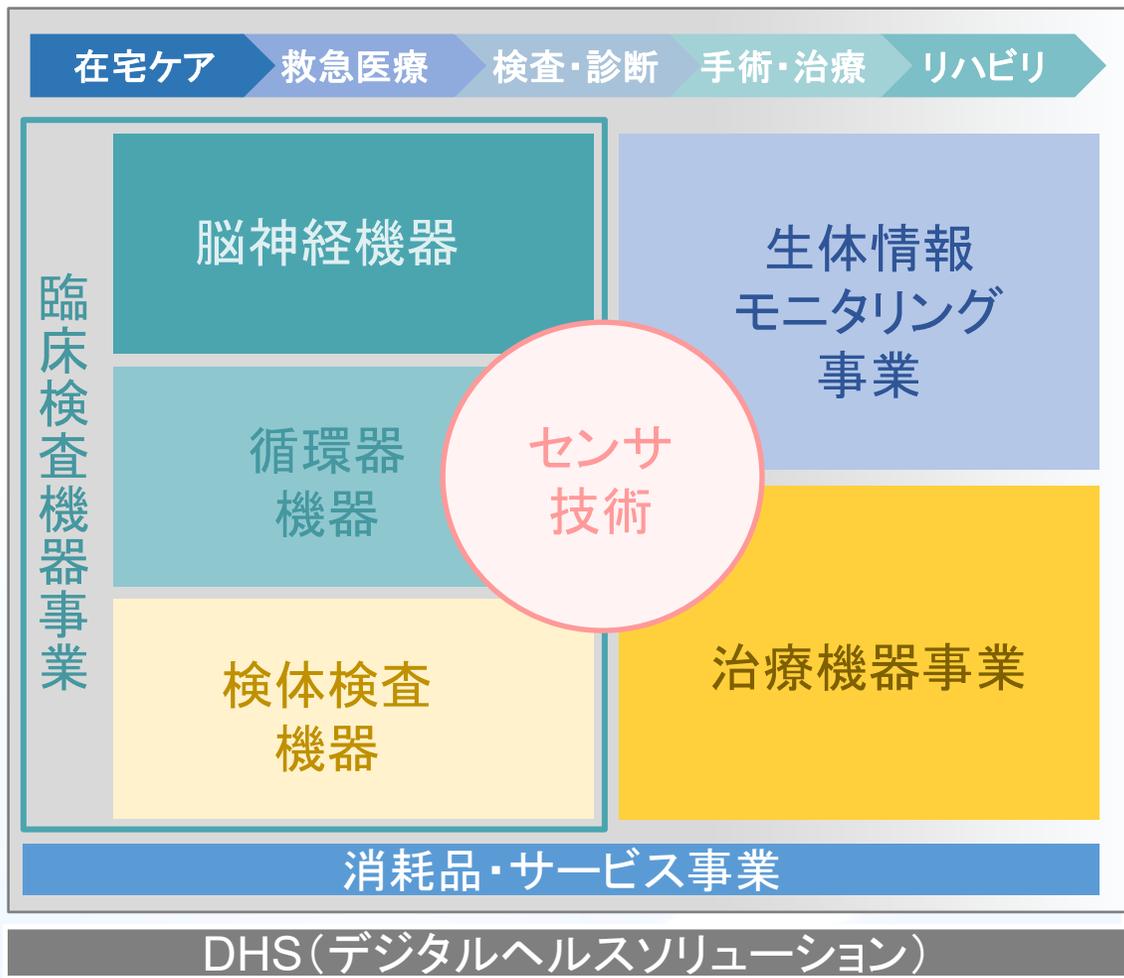
人事

法務

情報セキュリティ

- ✓ 国内販売における
内部統制システムの強化
- ✓ 全社的リスク管理体制の
高度化を推進

既存事業における収益性の改善



全事業共通施策

高い顧客価値の創造

- ・デジタルヘルスの推進
- ・サイバーセキュリティ対応
- ・医療機器リモート監視システム (MD Linkage) の拡充

生産性の向上

- ・新たな共通設計プラットフォームの構築
- ・標準化・共通化の推進
- ・ライフサイクルマネジメントの徹底

タイムリーな製品投入

- ・世界最高品質の追求
- ・開発体制、QA/RA体制の強化

高収益体質の実現

生体情報モニタリング事業

✓ 製品ラインアップの拡充、機能強化による顧客価値提案の推進

一般病棟

ICU

手術室

院内・院外



ViTrac



2022年度
国内発売

NEW!



新生児蘇生モニタ
NRM-1300

NEW!

2021年度
国内発売



セントラルモニタ
CNS-2101



CSM-1702



CSM-1901

医用テレメータ
2023年度新機種追加予定



GZ-130P



GZ-140P

ZS-630P ZS-640P



WEP-1200



WEP-1400



SVM-7500



SVM-7200



PVM-4000



BSM-3000



CSM-1501



CSM-1502



CSM-1701



BSM-1700



BSM-1700

全静脈麻酔支援シリンジポンプ制御ソフトウェア

2022年9月
国内承認取得

2023年度
国内発売予定

バイタルデータを活用し、
麻酔薬の投与を自動調節



ハイ
エンド

ミドル
レンジ

ロー
エンド

Digital Health Solutions 構想の実現

イタリア Software Team社を買収



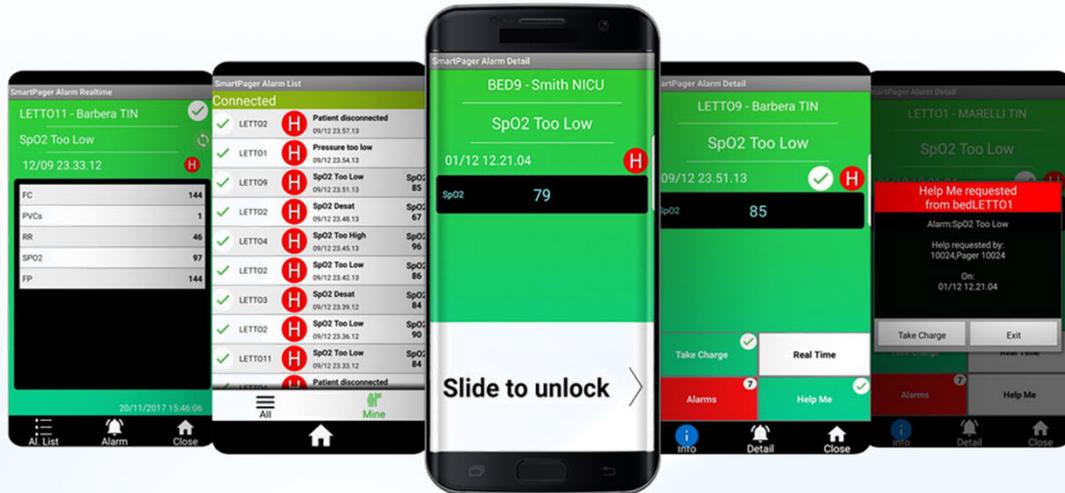
- 本社： イタリア・ミラノ
- 設立： 1988年
- 代表者： ロベルト・マジョーニ氏 (CEO)
- 事業内容： 医用電子機器用ソフトウェアの開発・販売

- 当社のDHS(デジタルヘルスソリューション) 構想と高い親和性
- 欧州市場における生体情報モニタ商談の提案力強化を期待

生体情報モニタ等の
アラーム情報を
スマートフォン等に転送

- アラーム見逃しの低減
- 迅速・適切な処置

医療の質向上



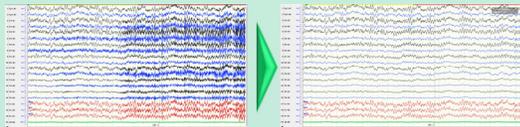
臨床検査機器事業

✓ 製品ラインアップの拡充、機能強化による顧客価値提案の推進

脳神経機器

✓ ネットワーク対応の脳波アンプを開発

- 病棟やICUでの脳波モニタリングを簡便に実施可能
- 再生端末でもリアルタイムで脳波・ビデオ画像を参照
- アーチファクト(ノイズ)除去機能が向上



NEW!

2022年度国内発売



循環器機器

✓ 普及タイプ心電計のラインアップ拡充

NEW!



心電計
ECG-3250
2022年度発売

- 内蔵無線LANを搭載
- パソコンのWebブラウザでデータ参照が可能



心電計
ECG-3350
2020年度発売



心電計
ECG-3150
2019年度発売



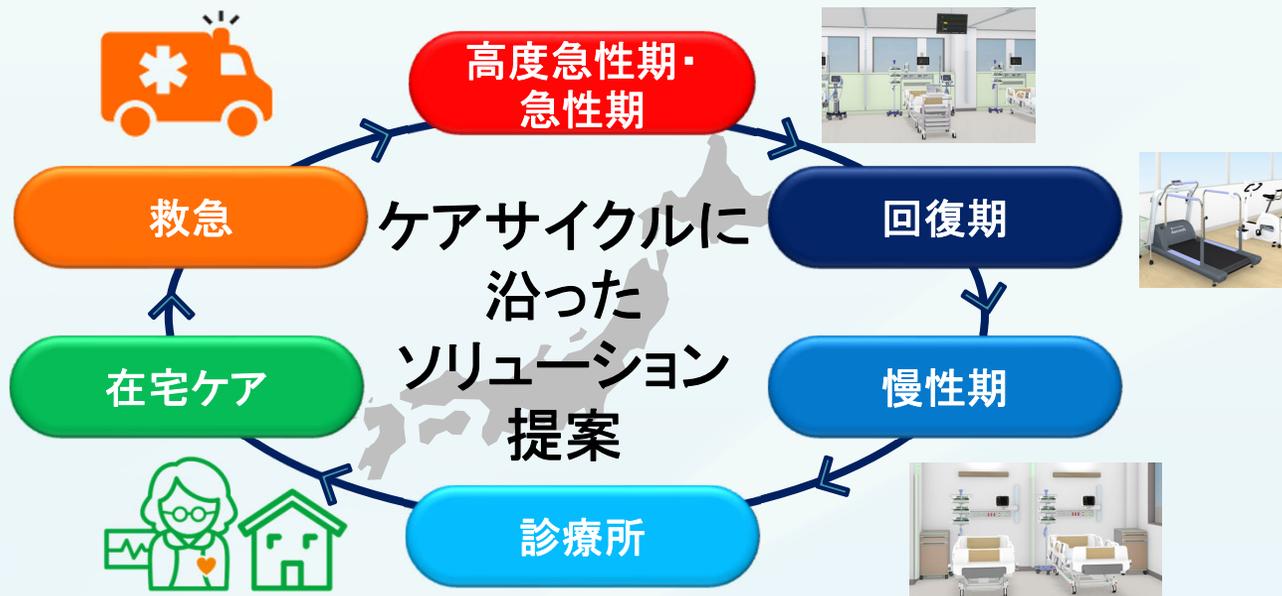
グローバル事業における戦略強化

日本：医療の質向上、医療課題の解決に向けたソリューション提案を強化

✓ 顧客価値提案の強化

医療安全 診療実績 業務効率 につながる

提案営業力の強化、サービスの拡充



✓ 遠隔ICU構想の検証開始



ダッシュボードによる遠隔集中管理



バイタルサインから算出したスコアで、患者さんの状態変化の監視を支援

バイタルサイン
統合指標ソフトウェア
2022年度発売予定

バイタルサインデータ

※イメージ画像

米国：子会社7社の統合と融合による米国事業のさらなる成長

✓ 製品ラインアップの拡充



✓ 大規模ネットワークに対応した モニタリングソリューションの 提案を強化

NEW! 中位機種ベッドサイドモニタ
2022年度発売



サイバー
セキュリティ対策
を強化

4月 CSM-1500シリーズ
9月 CSM-1700シリーズ

人工呼吸器



中位機種
モデル
2022年度FDA申請

救急蘇生機器

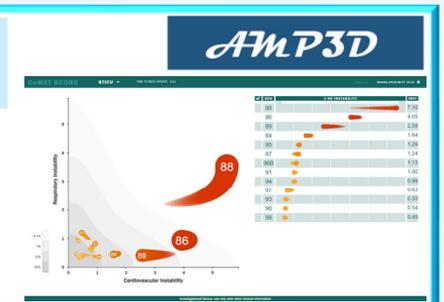


次世代自動心臓
マッサージ装置
2022年度発売予定

DHS(デジタルヘルスソリューション)

CoMET®: Continuous Monitoring of Event Trajectories 患者容態管理のための
アルゴリズム・ソフトウェア

2022年度FDA申請



新興国：日本・米国製、上海製の新製品の提案を強化

日本・米国製品

ハイエンド市場

救急

除細動器



EMS-1052

ICU

ベッドサイドモニタ



CSM-1500/1700シリーズ

人工呼吸器



NKV-330

人工呼吸器



NKV-550

ベッドサイドモニタ



PVM-4000

人工呼吸器
中位機種モデル

2022年度発売予定

血球計数器



MEK-9200
2021年度発売

DynaScatter Laser
+HEM408



MEK-1301/02

血球計数・
赤血球沈降速度
測定装置



MEK-1305

CIRHEX
Technology

血球計数・
免疫反応測定装置



MEK-1303+HbA1c※2
2022年度発売予定

上海製品

ミドル&ローエンド市場

現地開発・生産

心電計



ECG-3150/3350

心電計



ECG-3250
2022年度発売

NEW!

スポットチェック
モニタ



SVM-7100

ベッドサイド
モニタ



SVM-7500

中国市場向け現地開発

検体自動搬送システム



白血球5分類とCRP※1を測定
2021年度発売

中国市場向け現地生産

除細動器



TEC-5600

AED



AED-3100

ベッドサイド
モニタ



BSM-3000
2021年度発売

血球計数器



MEK-9100
2021年度発売

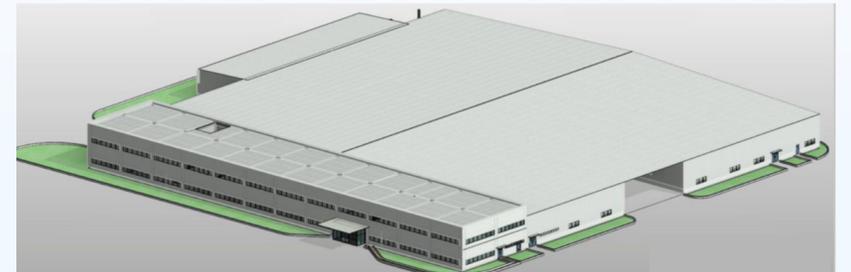
インド試薬新工場

総投資額:約11億円

床面積:現工場の約4倍(予定)

着工:2022年9月 完成:2023年春

稼働開始:2024年春予定



※1 CRP(C-Reactive Protein):C反応性蛋白。 ※2 HbA1c:ヘモグロビンA1c。

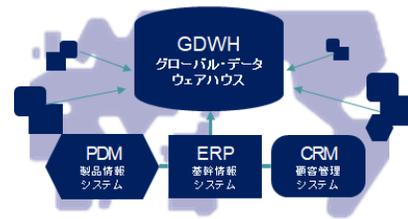
グローバルSCMの構築・ コーポレート主要機能の強化

グローバルSCMの構築

✓グローバル情報基盤の整備

全海外販売子会社との
基幹システム連携が完了

需給バランスの見える化



✓PLM/MES※システム導入に着手

技術・生産部門のDX化による
業務負荷・コスト削減

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、
MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

コーポレート主要機能の強化

✓社内ITシステムの サイバーセキュリティ強化



グローバルでグループウェアを統一予定

✓製品のライフサイクル全体で、 最新の法規制への対応を強化

欧州IVDR※認証を取得

(2022年8月)

市販後マーケティング調査



※IVDR(In Vitro Diagnostic Medical Device Regulation):体外診断用医療機器規則。

経営目標値(2024年3月期)

売上高	1,970億円
国内売上高	1,340億円
海外売上高 (海外売上高比率)	630億円 (32.0%)
消耗品・サービス売上高比率	48%以上
売上総利益率	50%以上
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	138億円
ROE	10%

地域別海外売上高

米州	320億円
欧州	100億円
アジア州他	210億円

3カ年計画

研究開発投資	200億円程度
設備投資	140億円程度

想定レート: 1米ドル=102円、1ユーロ=124円

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の企業成長
に向けた投資

- ・ デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- ・ コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究
開発



設備
投資



M&A
提携



人財
育成



配当

長期安定配当を
継続

目標:連結配当性向
30%以上

自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に検討

22/3期

年間配当金: 67円(70周年記念配当13円/特別配当15円を含む) (配当性向:24.2%)
自己株式取得: 18.9億円 (総還元性向:32.2%)

23/3期
(予想)

年間配当金:
40円
(配当性向:21.0%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003